

令和3年6月11日

茨城県教育委員会教育長 小 泉 元 伸 殿

文教警察委員会	委員長	田 口 伸 一
	副委員長	磯 崎 達 也
	委員	西 條 昌 良
	同	小 川 一 成
	同	萩 原 勇 修
	同	中 村 隼 人
	同	石 塚 英 彰
	同	齋 藤 けい子
	同	田 村 詠美子
	同	設 楽 詠美子

### 県立高等学校入学者選抜学力検査等の採点ミス事案に関する提言

今回の事案は、生徒の将来を左右しかねない教育の根幹に関わるもので、二度とあってはならないものである。

このため、今後も、下記の事項について着実に実行することで、大きく損なわれた県民の信頼回復に努めるよう要望する。

#### 記

- 1 2系統での採点システムについて、学校の意見を踏まえた上で、シミュレーションをしつかりと行うとともに、コストやリスクの検証を行うこと。また、人手と読取り機器等をミックスした運用など新たな手法を検討し、採点ミスが起きる要因のさらなる排除や学校の負担軽減を図ること
- 2 記述式問題の詳細な採点基準を明確にするとともに、学校では判断できない事案に対しては、迅速に対応できる体制を整えること
- 3 不合格者への採点結果の提供を速やかに行うこと。また、解答用紙の長期保存や、クラウドを活用するなど新たな保存方法を検討すること
- 4 採点業務に係る期間や人員を十分に確保し、教員の働き方改革を進めること
- 5 学校における課題等を県教育委員会全体で共有し、改善意見等をフィードバックできる仕組みとすること
- 6 採点業務に係る責任の所在を明確にすること